

2009年(年) 10月27日(火) 付け紙面より

研究者OBが決起 山形大農学部鶴岡高専 庄内のため「サロン」開設

山形大農学部や鶴岡高専の研究者OBらが集まり、知識や経験を生かして地元企業の技術開発を支援する「2050年の庄内を考える会—サロン”SHONA I 20—50 (twenty—fifty)”」の活動がスタートした。鶴岡市のマリカ東館にある産学連携センターを拠点に、農業と工業に関する産学の情報交換を深め、OBらがこれまで培った研究・技術を地元に戻し、食糧生産と産業支援技術に優れた「2050年の庄内モデル」の構築を目指す。

サロンの設立発起人は鶴岡高専側が丹省一(機械工学)、井上孝一(数学)、福土正幸(電気・電子工学)の名誉教授3人と横山正明校長(機械工学)。山大側は粕淵辰昭名誉教授(農地物理学)と前田直己客員教授(環境科学)の計6人。

同センターで23日に発足説明会があり、発起人3人と地元企業関係者ら合わせて6人が出席。丹名誉教授が「会の最大の目的は、分野の違う研究者OBが協力して庄内の将来のために何かしようというもの。安全・安心な食糧生産と、それを支える工業技術の融合を追求し、このサロンから発信する。また、地元企業や現役研究者の技術開発、共同研究に関する相談も受け付けたい」と説明した。

同会はマリカ東館3階にある産学連携センターを拠点に、毎週金曜日の午後2—4時にサロンを開設。企業などからの相談や情報交換を行う。丹名誉教授は「他大学や研究機関、県外の企業などにも参加してもらい、多角的な視点で活動を広げていきたい」と話している。同会は企業や関心を持つ一般市民にサロンへの参加を呼び掛けている。参加費は無料。問い合わせは同センター=電0235(23)2200=へ。



「庄内の未来のために」とスタートしたサロンの発足説明会=23日



発行所 庄内日報社

〒977-8501 山形県鶴岡市
 〒977-8502 山形県鶴岡市
 〒977-8503 山形県鶴岡市
 〒977-8504 山形県鶴岡市
 〒977-8505 山形県鶴岡市
 〒977-8506 山形県鶴岡市
 〒977-8507 山形県鶴岡市
 〒977-8508 山形県鶴岡市
 〒977-8509 山形県鶴岡市
 〒977-8510 山形県鶴岡市
 〒977-8511 山形県鶴岡市
 〒977-8512 山形県鶴岡市
 〒977-8513 山形県鶴岡市
 〒977-8514 山形県鶴岡市
 〒977-8515 山形県鶴岡市
 〒977-8516 山形県鶴岡市
 〒977-8517 山形県鶴岡市
 〒977-8518 山形県鶴岡市
 〒977-8519 山形県鶴岡市
 〒977-8520 山形県鶴岡市

- 本社代表 0235-22-1480
- 編集の受付しごと 0235-22-1481
- 編集の受付しごと 0235-22-1482
- 印刷の受付しごと 0235-22-1487
- 印刷の受付しごと 0235-22-1479
- 印刷の受付しごと 0235-22-2633
- 印刷の受付しごと 0235-22-1794
- 印刷の受付しごと 0235-22-4244
- 印刷の受付しごと 0235-26-0430

購読のお申込